

あなたのコメントが誹謗中傷にならないために

1. 提案のきっかけ

(1)わたしたちの体験と、調べて分かったこと

私たちは、学校でネットモラルというネットでのトラブルの動画を見ています。最近はSNSを使う人が増えてきているので、トラブルに巻き込まれないようにするために提案文を書くことにしました。

(2)解決したい課題

コメントするときに、相手の気持ちを考えないで感情に任せてコメントをすると相手を傷つけてしまったり、罪に問われてしまう可能性があります。私たち小学生もSNSでコメントする人たちが多くなっている所以、この課題を解決したいです。

2. 提案

(1) まず、他人の投稿に、悪口や、否定的な言葉、暴言、あおり...などのコメントは控えましょう。あなたが「死ね」、「アホ、バカ」などと、軽い気持ちでコメントしたとしても、そのコメントを見た人たちは、あなたが本気だと思うかもしれません。その時は、警察に通報されたり、親に電話がかかってくるかもしれません。コメントを見た人や、コメントをされた人の生活に、支障が出るかもしれません。そうならないように、あなたから相手をおおるようなコメントはしないようにしましょう。「お前どうせできないだろ」などのおおるようなコメントをすると、どんどんエスカレート(コメントの喧嘩がひどくなること)し、それが原因となって相手やあなたに被害がおよぶかもしれません。

(2) 相手の気持ちを考えてからコメントをすることを提案します。相手の気持ちは、わかりにくいものです。「相手の気持ちなんかすぐにわかるぜ」っていう人は、近くの人に「今の私の気持ちわかる?」「ヤッホー、私今何考えているかわかる?」などと、聞いてみてください。わからないと答える人がほとんどだと思います。直接会話していてもわからないのに、ネット上では表情も口調も見えないので、もっとわかりにくくなるので、勘違いや、すれ違うことがあるので気をつけましょう。自分も言われたら嫌だなということを言わないということがポイントだと思います。

(3) もしかしたら...〇〇罪になるかも!!!!!!

名誉棄損罪(めいよきそんざい)・・・「あいつ0点だった。」、侮辱罪(ぶじょくざい)・・・「おまえバカ。」、脅迫罪(きょうはくざい)・・・「〇〇さん、死んでもらいます。」、威力業務妨害罪(いりよくぎょうむぼうがいざい)・・・「明日、X X 小学校を爆破する。」

(4) こんなコメントの仕方をしてみたら相手に伝わるかも...

- ・感情をコメントする。

→嬉しいことをコメントしてもらったときに、普段コメントでは、あまり「嬉しい」、「ありがとう」などと言わないかもしれませんが、それをコメントすることで相手にあなたの気持ちが伝わるかもしれません。

- ・絵文字を使う

絵文字を使うことで、よりわかりやすく感情を表現することができます。ですが、絵文字は人によってかいしゃくが違うこともあるので、少し注意が必要です。絵文字だけでなく、感情を表現する言葉と組み合わせて使うのがオススメです。

3. 効果

- ・誹謗中傷によって傷つく人や、生活に支障が出てしまう人が減る!!
- ・誹謗中傷(わざとじゃなかった場合も含め)がなくなる
- ・あなた達が罪に問われないようになる

4. まとめ

誹謗中傷はとても身近にあるものです。SNSは面白さの裏に犯罪の場になるときもあります。「まあ自分は大丈夫だろう。」と思っていると実は無意識にやってる人もいますし、同じ意味でも言い方によって誹謗中傷になる可能性があります。わざとじゃなくても、誹謗中傷することは許されません。コメントする時には絶対に気をつけましょう。LINEやメッセージアプリは、あくまで連絡をするための手段なので、コミュニケーションを取るために使うのをひかえることだけでも、あなたのコメントが誹謗中傷にならないことにもつながるかもしれません。